

報告内容

1. プロジェクトの概要（再掲）

- （期間） 2025年度～2029年度の5年間
 （目的） 海外の商社やバイヤーと連携したオール九州でのプロモーション等により、販路開拓と収益拡大を図る。
 （取組） ①海外マーケット情報の収集・分析（市場動向等）
 ②海外への販路開拓（「九州フェア」の実施等）
 ③事業者支援（セミナーや個別相談等）

2. 地域戦略会議後の進捗状況（2025年6月以降）

<担当者会議>

- ・2025年8月7日、各県及び各団体、支援機関等の担当者（総勢47名）が参加したオンライン会議を実施し、再度、本プロジェクトに関する認識の共有を図った。

<市場動向等の収集・分析>

- ・海外の消費者ニーズやバイヤーが求める商材等に関する情報を適宜収集しており、2025年11月から九州・沖縄、山口県内へ幅広く発信する予定。

<海外フェア>

- ・フェア開催に向けたバイヤーとの協議を適宜実施しており、2025年度は9つの国・地域で13回の開催を予定（3ページ後参照）。
- ・各県及び支援機関等との連絡体制を構築し、多くの生産者や食品事業者の販路拡大につなげていく。

<セミナー>

- ・2025年度は、海外市場開拓（輸出先進企業実例）、輸出関連支援（輸出支援施策）、農産品開発（商品開発）、知財管理（輸出前準備）等について、計7回のセミナーを開催予定。

3. 戦略委員からのコメントに対する対応

①服部知事（福岡県）

九州の「お酒」を集めて（塊で）販売していただきたい。

- ・2025年10月7～8日に福岡国際センターで開催された「フードエキスポ九州」において、九州・沖縄各県の「58蔵元／101銘柄の焼酎・泡盛」が試飲（飲み比べ）できるブースを設置し、海外バイヤー等へのPRを実施。



- ・2026年2月、フィリピンの「三越マニラ」にて九州貿易振興協議会主催の「九州フェア」が予定されている。「三越マニラ」は現地飲食店向けの卸売も行っているため、フェア開催のタイミングでBtoB向け試飲会（九州沖縄・山口の焼酎＆日本酒）を実施し、フェアでの小売販売だけでなく、今後の卸売販売実績にも貢献していく。

②大石知事（長崎県）

産地の育成を含めた戦略が重要である。輸出を見据えた産地づくりに向けて、海外ニーズ等の情報も共有していただきたい。

- ・輸出を見据えた産地育成については、海外の政府機関やバイヤー等からの情報収集に注力し、市場動向を含めたきめ細かい情報を提供していく。

③玉城知事（沖縄県）

国内最大級の「食」の国際商談会である「沖縄大交易会」の活用を検討していただきたい。

- ・2026年に開催される「沖縄大交易会」の参加者募集に際し、「フードエキスポ九州」に参加実績のある九州・山口地域の食品事業者や九州・山口各地の92商工会議所に対して、募集開始前の2026年4月初旬に詳細な通知を行う予定。

4. 九州フェア（日本美食物産展「九州特集」）について

期 間	2025年9月5日～22日（18日間）
場 所	廣三SOGO（台湾・台中市）
出 展	【九州沖縄の33者／78商品】 やまや／東京竹八／みそ半／福田農場／キムラ漬物 JAPAN POTATO／沖縄物産 等 ※物産展売場面積の3割を「九州特集」として開催
実 績	レジ客数：1.6万人／売上：6.2百万円（九州特集のみ）

＜お客様からの声＞

- ・日本には数度訪問しているが、初めて見る商品もあり楽しめた。
- ・日本は知っているが、九州のことはあまり知らないのので、各地の観光パンフレットが設置されていたのは良かった。
- ・試食で美味しいことはわかったが、当地では割高感を感じる（日本の小売販売価格を調べており、「訪日時に購入したい」と言われたお客様もいた）。
- ・「3個購入したら1個無料」や「試食・試飲時の食べ飲み比べ」などのイベント的な要素があれば良かった。

＜バイヤー等からの声＞

- ・今後も「九州一体」となった取組みを継続してほしい。
- ・商品に偏りがあるため、「目新しい商品」の提供を望む。
- ・台中市民には「食」に拘りを持った富裕層顧客が多いので、商品のPRを継続的に実施し、「定番商品」を育てていきたい。
- ・当地の日本料理店向けに商品を提案してみてもどうか。
- ・各地の「祭り（イベント）」を披露すれば、会場の賑わい創出や観光PRにつながるのではないかな。

＜今後の取組み～関係者の「声」を受けて～＞

- ・フェアの都度、現地の消費者・バイヤー等からの「生の声」を収集し、商品開発や品目選定等に役立つ情報を提供していく。
- ・「九州・沖縄、山口」の認知度向上とインバウンド促進に向け、今後も「観光PRができる場」をフェア会場内に併設する。
- ・出展予算との兼ね合いもあるが、きめ細かい情報提供を行う観点から、出展者には極力、日本人販売員による接客を促し、「試食と会話を楽しむ場」を提供していく。
- ・「個数限定サービス」や「試食・試飲の食べ飲み比べ」など、お客様が楽しみながら購入できるよう、売り方を工夫していく。
- ・フェア開催後の対応として、現地の商工会議所等と連携して飲食店の発掘等、横展開を図っていく。





【台中・長美咲】九州の食の魅力を海外でも発信しようと、台湾・台中市の百貨店「広三そごう」で九州の食品メーカーなど26社が

めんたいこ、あまおう飲料…

九州の食 台湾へ発信

台中で九州商議所連合会など



九州の食の魅力を発信しようと、台湾の百貨店で開催中の物産展＝台中市の「広三そごう」

出品した物産展が開かれている。22日まで。
九州・沖縄・山口の各県知事や経済団体でつくる「九州地域戦略会議」がら

月、官民で取り組む地域振興策の一つとして「食の輸出促進」を決定。これを踏まえ、九州商工会議所連合会などが企画した。
計画では、本年度中にタイや中国、米国など8カ国・地域で計16回の催事を予定しているという。
今回はその初回。広三そごうで今月5日から始まった日本物産展のうち、売り場の約3割を「九州特集」として各県の産品を集めた。会場には、めんたいこやカステラ、福岡県産イチョ、官民で取り組む地域振興策の一つとして「食の輸出促進」を決定。これを踏まえ、九州商工会議所連合会などが企画した。
計画では、本年度中にタイや中国、米国など8カ国・地域で計16回の催事を予定しているという。
今回はその初回。広三そごうで今月5日から始まった日本物産展のうち、売り場の約3割を「九州特集」として各県の産品を集めた。会場には、めんたいこやカステラ、福岡県産イ

（2025年9月9日付 西日本新聞朝刊）

(参考) 令和7年度「九州の食」輸出促進プロジェクト 海外フェア日程表

2025年10月17日現在

No	担当事務局	進捗状況	国・地域	店舗名	名称	フェア日程	フェア		
							申込者数／商品数	採用者数／商品数	販売金額 (百万円)
1	輸出協議会 (九経連)	開催中	台湾	大全聯	日韓フェア	2025年10月17日（金）～10月30日（木）	46者／308品	6者／24品	－
2		商品選定済	カンボジア	イオンカンボジア	九州フェア（Japanフェア内）	2025年11月10日（月）～11月21日（金）	45者／233品	20者／166品	－
3		商品選定中	マレーシア	西武マレーシア	九州フェア	2025年12月26日（金）～2026年1月7日（水）	40者／233品	－	－
4	ワンチーム事務局 (九商連)	開催済	台湾	廣三SOGO（台中）	30周年記念 日本物産展「九州特集」	2025年9月5日（金）～9月22日（月）	40者／105品	33者／78品	6.2百万円
5		募集条件調整中		新光三越（台南 or 高雄）	日本商品展	2026年1月もしくは2月予定	－	－	－
6		募集条件調整中		漢神百貨アリーナ店（高雄）	日本物産展	2026年2月10日（火）～2月24日（火）	－	－	－
7		開催中	中国	シティスーパー上海	日本の秋味フェア	2025年10月9日（木）～29日（水）	－	5者／29品	－
8		商品選定済	シンガポール	伊勢丹シンガポール	九州フェア	2025年10月31日（金）～11月13日（木）	12者 (30品以上)	8者 (品目数調整中)	－
9		募集条件調整中	タイ	三越バンコク	九州フェア	2026年1月予定	－	－	－
10		商品選定中	米国	PPIHハワイ (MARUKAI、ドン・キホーテ等6店舗)	九州フェア	2026年2月11日（水）～3月3日（火）	106者	－	－
11				PPIHカリフォルニア (TOKYO CENTRAL等8店舗)	九州フェア	2026年2月19日（木）～3月18日（水）		－	－
12		募集条件調整中	フィリピン	三越マニラ	九州の焼酎＆日本酒フェア (BtoB向け試飲会) ※同時期に九州貿易振興協議会「九州フェア」開催	2026年2月予定	－	－	－
13		募集条件調整中	ニュージーランド	オークランドショーグランド (コンベンション施設)	Japan day	2026年2月22日（日） ※開催当日の前後で別場所でのフェアを開催予定	－	－	－

(参考) 令和8年度「九州の食」輸出促進プロジェクト 海外フェア予定表

● 令和8年度:11の国・地域／計16回の海外フェアを開催予定

2025年10月17日現在

No	担当事務局	国・地域	店舗名	名称	フェア日程
1	輸出協議会 (九経連)	台湾	大全聯	日韓フェア	2026年10月予定
2		カンボジア	イオンカンボジア	九州フェア (Japanフェア内)	2026年11月予定
3		マレーシア	西武マレーシア	九州フェア	2026年12月予定
4	ワンチーム 事務局 (九商連)	マレーシア	伊勢丹クアラルンプール	九州フェア	2026年6月予定 ※1月15日(木)個別商談会開催
5		ニュージーランド	Japan Mart ※TOKYO FOOD グループ	九州フェア	2026年7月予定
6		台湾	台中 (廣三) SOGO	日本美食物産展 九州特集	2026年9月予定
7			新光三越 (台南 or 高雄)	日本商品展	2026年11月or12月予定
8			漢神百貨アリーナ店 (高雄)	日本物産展	2027年2月予定
9		中国	シティスーパー上海	日本の味フェア	2026年10月予定
10		香港	シティスーパー香港	日本の味フェア	2026年11月予定
11		シンガポール	伊勢丹シンガポール	九州フェア	2026年11月予定
12		タイ	三越バンコク	九州フェア	2027年1月予定
13		米国	ハワイ (6店舗)	九州フェア	2027年2月予定
14			カリフォルニア (8店舗)	九州フェア	2027年2月予定
15		フィリピン	三越マニラ	九州の焼酎 & 日本酒フェア	2027年3月予定
16		インド	現地飲食店 (未定)	九州フェア	未定

1

ツール・ド・フランス現地調査報告

2

QXサイクルツーリズムの聖地九州 取組の方向性

3

ツール・ド・九州について(報告)

- ・ 2025大会報告
- ・ 2026大会開催
- ・ 2027大会に向けた準備



概要

- ツール・ド・九州をより魅力的なロードレースにし、国内外からの観客増加を図る ための方策を検討することを目的として、九州経済連合会の呼びかけによりツール・ド・フランスの現地調査を実施。
- 期間:2025年7月6日(日)～7月11日(金)6日間
- 人員 九経連:倉富名誉会長・池辺会長 各県:服部福岡県知事・河野宮崎県知事・竹内熊本県副知事他計18名
- 渡航先:フランス(パリ・アミアンメトロポール・ルーアン・カーン)



- 7月5日(土) 第1ステージ [リール・メトロポール〜リール・メトロポール] 185 km (平坦)
- 7月6日(日) 第2ステージ [ロワヌ・ブランクー〜フロニユ・シュル・メール] 212 km (丘越え)
- 7月7日(月) 第3ステージ [ヴァランシエンヌ〜ダンケルク] 178 km (平坦)
- 7月8日(火) 第4ステージ [アミアン・メトロポール〜ルーアン] 173 km (丘越え)
- 7月9日(水) 第5ステージ [カーン〜カーン] 33 km (個人TT)
- 7月10日(木) 第6ステージ [バユー〜ヴィール・ノルマンディー] 201 km (丘越え)
- 7月11日(金) 第7ステージ [サン・マロー〜ミュール・ド・ブルターニュ ゲルレダン] 194 km (丘越え)
- 7月12日(土) 第8ステージ [サン・メアヌ・ル・グラン〜ラヴァル エスパス・マイエンヌ] 174 km (平坦)
- 7月13日(日) 第9ステージ [シンン〜シャトールー] 170 km (平坦)
- 7月14日(月) 第10ステージ [エヌザヘル・モン・ドール ピュイ・ド・サンシー] 163 km (山岳)
- 7月15日(火) 休養日 (トゥールーズ)
- 7月16日(水) 第11ステージ [トゥールーズ〜トゥールーズ] 154 km (平坦)
- 7月17日(木) 第12ステージ [オシユ〜オタカム] 181 km (山岳/▲頂上ゴール)
- 7月18日(金) 第13ステージ [ルーダンヴィエル〜ペラギュード] 11 km (山岳個人TT)
- 7月19日(土) 第14ステージ [ボー・ヘリユシヨシ ユベルバニエール] 183 km (山岳/▲頂上ゴール)
- 7月20日(日) 第15ステージ [ミユレ〜カルカソンヌ] 169 km (丘越え)
- 7月21日(月) 休養日 (モンペリエ)
- 7月22日(火) 第16ステージ [モンペリエ〜モン・ヴァントゥー] 172 km (山岳/▲頂上ゴール)
- 7月23日(水) 第17ステージ [ボレーヌ〜ヴァランス] 161 km (平坦)
- 7月24日(木) 第18ステージ [ヴィフ〜クールシュヴェル コル・ド・ラ・ロズ] 171 km (山岳/▲頂上ゴール)
- 7月25日(金) 第19ステージ [アルバールヴィル〜ラ・ブラーニユ] 130 km (山岳/▲頂上ゴール)
- 7月26日(土) 第20ステージ [ナンチュア〜ボンタルリエ] 185 km (丘越え)
- 7月27日(日) 第21ステージ [マント・ラ・ヴィル〜バリ シャンゼリゼ] 120 km (平坦)



・ 4つのポイント

- ① 地域を巻き込む仕掛け（祭りの要素）
- ② 地域資源を巧みにいかしたコース設定
- ③ スポーツホスピタリティ
- ④ 運営を支えるインフラ群

① 地域を巻き込む仕掛け（祭りの要素）



第4ステージミアン スタート地点のキャラバンの様子

② 地域資源を巧みにいかしたコース設定



第21ステージパリ ルーブル美術館

③ スポーツホスピタリティ



有料エリアの様子(第4ステージ ルーアン フィニッシュ地点)

④ 運営を支えるインフラ群



中継車内部の様子

まとめ（今後ツール・ド・九州にいかせる事）

・ツール・ド・フランスは、120年を超える歴史の中で培われてきた様々な仕掛けや演出が内外の人々を熱狂させ、サイクルロードレースという「単一のスポーツイベント」が、「国民的祭り」という姿にまで昇華したフランスが誇る「誘客キラーコンテンツ」と思料。以下に今後のツール・ド・九州に活かせる項目を記載。

項目	内容	ツールド九州で応用できる
<u>地域を巻き込む仕掛け(祭りの要素)</u>	・キャラバン ・特徴あるブース ・シティドレッシング	・九州版キャラバン ・ブース内容の充実 ・既存シティドレッシングの規模拡大
<u>地域資源を巧みにいかしたコース設定</u>	・ルーブル美術館 ・古城 ・豊かな農村地帯	・城 ・都市部フィニッシュ ・棚田
<u>スポーツホスピタリティ</u>	・ヴィラージュ ・VIPエリア等	・九州版ホスピタリティエリアの設置
<u>運営を支えるインフラ群</u>	・移動式設備群 ・世界向け映像配信	・キャラバンカー等 ・放映権ビジネス

QX サイクルツーリズムの聖地九州 取組の方向性

目的：サイクリングを通じた、九州・山口への人流活性化と経済効果の最大化(サイクルツーリズムの聖地化)

■核となる国際サイクルロードレース

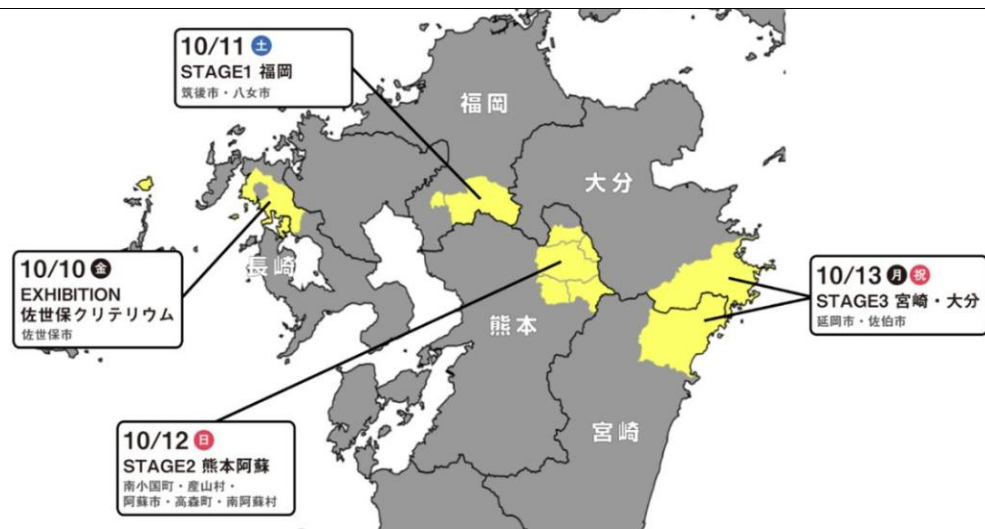
実施の目的	① RWC2019のレガシー継承（スポーツイベントを自ら創出） ② サイクルツーリズムの推進（観光のキラーコンテンツ）
あるべき姿（ビジョン）	1. レースのランクアップと多面的価値の創造で、世界に誇れるレースブランドの確立を目指す 2. サイクルツーリズム・九州モデルを確立し、観光消費拡大へ貢献する 3. 九州持続可能な発展の為に、企業と地域が共に創る、唯一無二の地方創生型イベントを目指す

■ビジョン実現へのロードマップ



2025大会開催報告

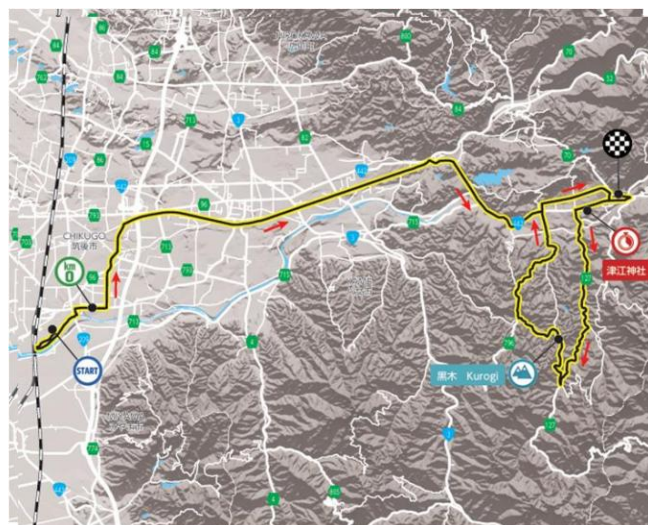
■主催	ツール・ド・九州2025実行委員会、(一社)ツール・ド・九州
■日程	2025年10月10日(金)～10月13日(月・祝)
■開催県	長崎県、福岡県、熊本県、宮崎県、大分県
■レース形式	転戦型ステージレース、クリテリウム
■カテゴリー	UCIアジアツアー2.1(ステージレース クラス1)
■参加者	18チーム



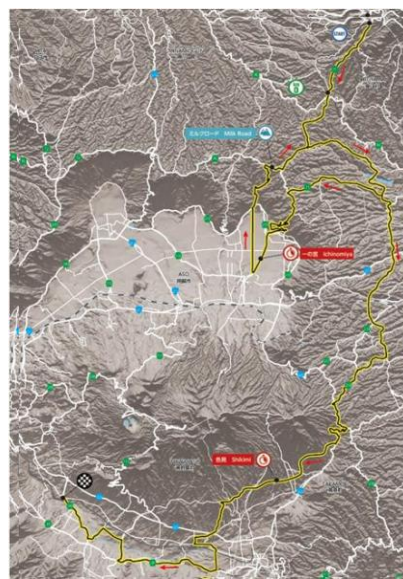
10月10日(金)佐世保クリテリウム



10月11日(土)福岡ステージ



10月12日(日)熊本阿蘇ステージ



10月13日(月・祝)宮崎・大分ステージ



マイナビ ツール・ド・九州2025



○大会総括

開催県：5県（長崎県・福岡県・熊本県・宮崎県・大分県）

コース：総走行距離	：399.53km	総合タイム	9:01:41
佐世保クリテリム	：45km		1:00:16
福岡ステージ	：120.43km		2:49:32
熊本阿蘇ステージ	：114.85km		2:35:47
宮崎・大分ステージ	：119.25km		2:36:06

参加者：18チーム（国内10・海外8） 参加選手106名（20カ国） チームスタッフ82名
スタッフ：集計中
使用車両：4輪109台
協賛企業：67社
観客：集計中

You Tube再生回数：24.8万回（10/20現在）
X（旧Twitter）：64.7万回（10/10～10/13）
インスタグラム：270.1万回（10/10～10/13）

2026大会開催

UCIアジアツアー2.1(ステージレースクラス1)としてUCIカレンダー登録されました。

大会名	日程	開催県
ツール・ド・九州 クリテリウム	2026年10月9日（金）	長崎県（佐世保市）
ツール・ド・九州	2026年10月10日（土）	福岡県・佐賀県
	2026年10月11日（日）	熊本県・大分県
	2026年10月12日（月・祝）	宮崎県

※コース案については協議中。

2027大会に向けた準備

準備スケジュール

開催県募集期間:2025年11月～2026年3月

